大臨技ニュース
〒545-0051
大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル
TEL.06-6647-3454　FAX.06-6644-1128
社団法人　大阪府臨床衛生検査技師会
発行責任者：朝山　均
大臨技ホームページＵＲＬ
http://www.osaka-amt.or.jp/

お 知 ら せ

血清検査部会特別講演会のお知らせ

学術部　血清検査部会

先ごろ実施した感染症検査ミニサーベイの報告会を行います。
サンプルはシングルドナーで、珍しい症例を含みます。変な結果が実際に出ることを知っていれば混乱しませんが、知らなければ混乱します。行った項目は、ＴＰ（ＳＴＳ、ＴＰ抗体）、ＨＩＶ、ＨＢＶ（ＨＢｓ抗原、ＨＢｓ抗体）、ＨＣＶです。また、透析患者のＣ型慢性肝炎についての講演もあります。

この講演会はオープンですので、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご出席下さい。

日　　時：平成14年11月16日（土）15：00～17：00
場　　所：大阪市立大学医学部学舎　４階　中講義室
　　地下鉄御堂筋線、谷町線「天王寺駅」
　　ＪＲ環状線、阪和線、関西線「天王寺駅」
　　近鉄南大阪線「あべの橋駅」より西へ徒歩10分
テ ー マ：感染症検査の症例報告－第二回ミニサーベイを行って
追加講演：透析患者のＣ型慢性肝炎
講師と内容：感染症検査の症例報告－第二回ミニサーベイを行って
　　大阪府立母子保健総合医療センター　宮野　章
　　国立循環器病センター　森　勝志
　　近畿大学医学部附属病院　岡田　和敏
　　大阪府藤井寺府民健康プラザ　川井　和久
　　市立泉佐野病院　林　孝昭
　　大阪医科大学附属病院　繁　正志
　　透析患者のＣ型慢性肝炎
　　尚生会西出病院　院長　宮野　元成
参 加 費：会員 500円（大臨技、近臨技会員および賛助会員）
　　非会員 3,000円
評 価 点：Ｃ－10点
連 絡 先：宮野　章
　　大阪府立母子保健総合医療センター検査科
　　ＴＥＬ：0725-56-1220（内線 2068）
　　E-mail：miyano@mch.pref.osaka.jp

11月の行事予定

７日（木） 血液シニア
[血液形態セミナー]

９日（土） 生涯教育推進講座
（卒後教養）

病理細胞定期
[細胞診特別講習会]

12日（火） 微生物ジュニア
[微生物基礎講習会]

14日（木） 生涯教育推進講座
（臨床化学）

大臨技理事会

16日（土） 血清特別
[血清検査部会特別講習会]

20日（水） 生涯教育推進講座
（公衆衛生）

生理定期
[腹部超音波研究会]

21日（木） 情報組織部会

21日（木）
22日（金） 第49回
23日（土） 日本臨床検査医学会総会
24日（日）

26日（火） 微生物シニア
[微生物定期講習会]

27日（水） 渉外部会

28日（木） 生理定期
[生理部会定期講習会]

30日（土） 一般定期
[一般検査部会定期講習会]

情報定期
[アプリケーション講座]
（事前申し込み）

第49回 日本臨床検査医学会総会

総会長　清水　章（大阪医科大学中央検査部長・病態検査学教授）

期　日：平成14年11月21日(木)～24日(日) ただし21日は各種委員会、評議委員会
場　所：大阪市北区中之島 グランキューブ大阪（大阪国際会議場）
http://www.osaka-med.ac.jp/~cli000/index.html

プログラムの一部は日本臨床衛生検査技師会との共同企画であり、本学会への出席は日臨技生涯教育履修点数Ｃ－10点に加算されます。

総会前日（平成１４年１１月２１日 木曜日）

◆交流懇親会（リーガロイヤルホテル山楽の間）
18：30より　会員非会員どなたでも参加できます。
会費5,000円

総会第１日目（平成１４年１１月２２日 金曜日）

◆特別講演Ⅰ
サイトカイン；研究室から臨床へ
岸本忠三（大阪大学総長）

◆招 待 講 演
［ロシュ・ダイアグノスティックス後援］
Molecular Analysis for Research and Diagnostics
北川雄光（慶応義塾大学医学部）
Peter Kasper（ロシュ・ダイアグノスティックス社）

◆一般演題口頭　1～54
Reversed Clinical and Pathological Conference ２題

◆シンポジウム
１．酸化ストレスと検査
２．分子病検査診断「症例呈示と病態解析」
３．輸血過誤防止を目指す検査

◆フォーラム
１．検査医学教育

◆専門部会講演会
１．臨床生理学　生理検査の最前線
２．臨床血液学　最近の臨床血液領域の話題と臨床検査

◆[企業提供ランチセミナー]
バイエルメディカル、住友製薬、協和メデックス、シスメックス、イマ インターナショナル

◆[企業提供イブニングセミナー]
ダイナボット、ヤトロン、和光純薬工業、日本ビオメリュー

総会第２日目（平成１４年１１月２３日 土曜日）

◆特別講演Ⅱ
「ゲノム医療とEBM時代の循環器病研究」
永井良三（東京大学医学部器官病態内科学）

◆総会長講演
変異蛋白質の質量分析による検出－臨床検査への応用－
清水　章（大阪医科大学病態検査学）

◆一般演題口頭　55～87、ポスター1～122

◆シンポジウム
４．外部精度管理調査の現状と将来
５．血液検査の新しい流れ
［日本検査血液学会共催シンポジウム］
６．これからの検査情報室の役割を問う
－検査報告に留まらない診療に役立つ情報提供へ向けて－
［㈳日本臨床衛生検査技師会との共同企画シンポジウム(2)］
７．医療に貢献する臨床検査
－国民のための適正な臨床検査を提供するためには－
［㈳日本臨床衛生検査技師会との共同企画シンポジウム(1)］
８．最新自己抗体検査
９．癌・感染症の遺伝子診断
10．感染症検査・チーム医療
［日本微生物学会共催シンポジウム］

◆フォーラム
２．EBLMの進め方と問題点－系統的レビューを中心に－
［エスアールエル後援］

◆専門部会講演会
３．病理・臨床細胞学
病理・細胞診の精度管理－あるべき姿を求めて－
４．臨床免疫血清学
ウイルス検査の現状と問題点
５．臨床化学
主要疾患における診断・治療のためのガイドラインおよび検査値
６．臨床微生物学
特殊微生物の感受性検査の現状

◆[企業提供イブニングセミナー]
デイドベーリング、富士レビオ、シノテスト

総会第３日目（平成１４年１１月２４日 日曜日）

◆一般演題口頭　88～120題、ポスター123～247

◆フォーラム
３．DRG／PPS　包括医療に適応する臨床検査
４．検査技師教育の新理念
－21世紀の臨床検査技師に求められるもの－

◆シンポジウム
11．尿検査・腎機能検査の新しい流れ

第49回 日本臨床検査医学会総会 併催公開講演会

後援　㈱三菱化学ビーシーエル

場所：大阪市北区中之島 グランキューブ大阪（大阪国際会議場）
10階会場1001～1003
日時：平成14年11月24日（日）13：00～14：00

内容：**最新医療と臨床検査**

- **医療改革と臨床検査**　植松　治雄（大阪府医師会会長）
- **病院内感染**　一山　智（京都大学）
- **生活習慣病の予防と治療－臨床検査を利用しよう**　花房　俊昭（大阪医大）
- **肺結核・肺癌の診療における最近の進歩と問題点**　川瀬　一郎（大阪大学）
- **臓器・組織移植と再生医療**　松田　暉（大阪大学）
- **安心して受けられる臨床検査を目指して －臨床検査医学会 会長からのメッセージ－**　櫻林郁之介（自治医大）

●公開講演会は入場無料です。最先端医療と臨床検査について、まとめて理解できるまたとない企画です。日本臨床検査医学会非会員の方のご来場も歓迎します。
入場者数確認の為、ハガキ、FAX、e-mailのいずれかで、下記宛て、参加をお申し込み下さい。参加証と抄録をお送り致します。
参加申込は、「講演会参加」の旨ご記入の上、住所・氏名・年齢・職業（空欄でも結構です）をお書き下さい。締め切りは前日まで。

========== 申 し 込 み 先 ==========

大阪医大病態検査　〒569-8686　高槻市大学町２－７
ＦＡＸ：0726-84-6548
E-mail：cli000@art.osaka-med.ac.jp

==========

公開講演会

最新医療と臨床検査

生活習慣病 癌・心臓病 の克服

－臨床検査が第一歩－

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

場所：グランキューブ大阪
（大阪国際会議場）
日時：平成14年11月24日(日)
13：00～16：00
（12：30より受付開始）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

公開講演会に際して、会場周辺ホワイエで検査質問コーナーを設け、一般参加者の方への質問に会員有志が回答します。
（回答者ボランティア募集中）

日時：平成14年11月24日(日)
10：30～12：30
担当：大阪医大病態検査学
武内　徹

大臨技学術部臨床化学検査部会のお知らせ

基 礎 シ リ ー ズ

「小児科における臨床化学検査データの見方 －症例を中心として－」
生 涯 教 育 推 進 講 座

日　時：平成14年11月14日（木）18：30～20：00
場　所：大阪市立大学医学部　４階　小講義室
内　容：「小児科における臨床化学検査データの見方 －症例を中心として－」
講　師：余田　篤　大阪医科大学附属病院小児科
参加費：500円（非会員 3,000円）
評価点：Ｂ－10点
連絡先：松下記念病院　中央臨床検査部　中島　康仁
ＴＥＬ：06-6992-1231（内線 3224）
E-mail：fwhz2544@mb.infoweb.ne.jp

平成13年度 生涯教育研修制度「一般教育研修課程」終了する

『日臨技生涯教育研修制度「一般教育研修課程」平成13年度処理』に基づいて、入力された履修点数データによって生涯教育研修制度「修了者」となった大臨技会員38名の方々に「修了証書」および「履修通知書」が発送されました。当課程を修了された皆様おめでとうございます。今後も研修を積み重ね生涯にわたって研鑽されることを期待いたします。

第７回 大臨技親睦テニス大会・盛大に開催

市立松原病院　田中 建一

9月16日（月）の午前９時から午後５時まで、第７回大臨技親睦テニス大会を大正区のマリンテニスパーク北村で行いました。

当日は晴天に恵まれ、60名の参加者がそれぞれ試合やスクールで思う存分にプレーできました。大会を重ねる毎に、参加者のレベルが上がって優勝するには大変な努力が必要になりました。また今回は、女性プレーヤーの参加が過去最高の31名で、一段と華やかな大会になりました。大会の成績は、次のとおりです。

男子ダブルス優勝
浅井　浩次（大阪府立羽曳野病院）
石橋　芳元（済生会富田林病院）

男子ダブルス２位
佐々木政臣（大阪市立大学付属病院）
北橋　　繁（大阪市立大学付属病院）

男子コンソレーション１位
井上　敦雄（松下記念病院）
青木みどり（松下記念病院）

スクール特別賞
大庭　志伸（藤沢テクニス）
石田　文恵（相原第２病院）

女子ダブルス優勝
矢辺　芳子（相原第２病院）
濱部美香里（伯耆循環器内科クリニック）

女子ダブルス２位
植田　洋子（住友病院）
古家　妙子（住友病院）

女子コンソレーション１位
比良野和子（ちぬが丘診療所）
友納　順子（健栄会三康病院）

参加者感想

男子ダブルス優勝　府立羽曳野病院　浅井 浩次

羽曳野病院の浅井です。テニス大会には、毎年参加していますが、優勝への道のりは、遠い所にありました。しかし、この大会を目標に日頃の練習とそしてパートナーにも恵まれ優勝することができました。息子も大きなトロフィーを見てビックリしていました。（感動はなかったな～）。テニス大会以外にも学術勉強会へは、私の病院内での移動に伴い、病理・細胞・輸血、現在は、細菌にお世話になっています。この場を借りて、各世話役の方々にお礼を申し上げます。これからも宜しくお願いします。

☺

女子ダブルス優勝　伯耆循環器内科クリニック　濱部 美香里

９月16日に大臨技テニス大会があり、私は初めて出場しました。心配していたお天気は、当日になると少しぐらい曇ってくれたらいいのにと思うくらい晴天に恵まれました。

ダブルスを組む相手も決まり初めて組んだとは思えないほど息が合い、いつの間にか決勝戦にまで勝ち進み、ついには優勝しました。学生の時お世話になった実習病院先の技師さん達と応援しあったり仕事の話などをしたり人の輪が広がってとても楽しい１日でした。

もっとこういう機会が増えたらいいなと思いました。

コンソレーション１位　松下記念病院　井上 敦雄

今回初めて参加させていただきました。15年近くのブランクがあり、昨年９月からインドアのテニススクールを再開した私にとって初の武者修行でもあり、少し不安を抱き会場に着きました。しかし、60名を超える参加者と明るい雰囲気に安心し、試合を楽しむことができました。結果は１回戦で敗退し、敗者復活戦に回ることとなりましたが、ここで１位となり満足いく結果となりました。当日は天気予報がはずれ秋にしては暑いほどの晴天に恵まれ、日頃の厳しく忙しい職場を離れ、太陽のもと会員皆さんと親睦が図られ、楽しく１日を過ごすことができましたことを感謝しています。ありがとうございました。

☺

テニススクールに参加して　藤沢テクニス　大庭 志伸

心配されていたお天気も申し分のない晴れ間となり、テニス大会は盛大に開催されました。私は、テニススクールに参加させて頂きましたが、思っていたより人数が少なく、とってもハードな練習でした。日頃の運動不足でついていくのがやっとの状態でしたが、熱心な指導のもと楽しくテニスができました。特に、試合は何回やっても勝てなかったのは、練習といえども悔しかったです。来年はぜひ、試合に出てみたいと思っていますが、来年もこのような楽しい大会を運営してくださるよう期待しています。皆さんお疲れ様でした。

☺

テニススクールに参加して　相原第２病院　石田 文恵

私は同病院の上司の矢辺さんに誘われ、このテニススクールに参加させていただきました。初めは握り方すら分からない私に皆様は試合の合間を縫って丁寧かつ熱心にご指導してくださり、最後には自分でも満足いくあたりが何回かあり、テニスの楽しさを垣間見ることができたように思います。他のスクール生の方も優しく声をかけてくださり、技師会の中での交流もできました。これをきっかけにテニス＆技師会交流をしていきたいと思います。

吹田市《みんなの健康展》開催される

第２地区区長　本岡 敬一郎

今年も９月７日と８日に吹田のメイシアターにおいて、みんなの健康展が開催されました。今年で19回目を迎え、ここ数年は良い言い方としては落ち着いた健康展、悪い言い方をすればマンネリ化した形となりました。今年は技師会として参加するのが15回目という一つの節目の年でもあったことや、講演会が地元国立循環器病センター名誉総長の山口先生であることもあり、「今年は医師会・技師会関係なく、いっしょに健康展を今一度盛り上げてみませんか」と、ほんの簡単な気持ちで医師会に声掛けしたところ、あれよあれよと言う間に話が進み、ミニ検診をする形にまでなりました。マンネリ化を打破するためにあえて技師会の目玉であったエコー検査を外し、新しい検査の導入に挑戦しました。技師会の担当は、体力測定コーナーにおいては呼吸機能検査を、健康管理コーナーでは身長・体重測定、簡易血糖測定、骨塩定量、四肢血圧測定を担当しました。医師会・栄養士会との合同企画としたため、技師会が恥をかかぬよう事前に研修を企画し、万全の体制で望むところでしたが、直前になって骨塩定量の機器がこちらのミスで一台しか手配できないことが判明、不安なまま当日を迎えました。

２日間とも天候に恵まれ、健康展は毎年の如く盛況。市民の方が各コーナーを回って自分のデーターを書き込み、最終場所でそのデーターをパソコン処理、医師からのアドバイスを得るといった一連の形をとりました。技師会のコーナーも２日間四苦八苦しながら延べ25名の技師と13名のメーカー担当者が協力してくれました。各コーナーでの件数は下記に記載しましたが、特に骨塩は好評で常に10人以上並ばれ息つく暇もありませんでした。（担当者さん本当にスミマセン）

毎年思うことですが、市民の皆さんは常に健康に対する意識を持っておられます。しかし、痛みが続いたり生活に支障を感じたりしてこそ初めて医院や病院にかかるのが現状です。生活習慣病は、自覚的にも他覚的にも目に見えて異常をきたすことはどちらかと言えば少ない方であるため、それゆえ発見が遅れたりします。こういう隠れ病人を、いかに見つけ出し早期に治療するかが、今後の我々医療スタッフの大きな役目になると考えます。今後もこのような健康展をより多くの市民の方にアピールし、楽しみながら健康をチェックしてもらえるような企画を考えていきたいと思います。

今年は同日に茨木と豊中で、それぞれ各地区の特色を出しながら健康祭りが行なわれました。どこが一番盛況だったかという野暮なことは考えずに、今後も良い意味で競い合いたいと思います。他地区の真似でもいいし、いいとこ取りでもＯＫです。必要なことは我々の仕事を理解していただき、市民の方の健康管理に役立つような活動をアピールすることと考えます。更に５年先10年先を見越して、病院という枠を超えた若い技師が企画の中心になって、これからの健康展を引っ張っていって欲しいと思います。

吹田健康展検査件数

日時 / 検査内容	7日 男性	7日 女性	7日 合計	8日 男性	8日 女性	8日 合計	合計 男性	合計 女性	合計 合計
呼吸機能検査			278			322			600
血糖測定	77	151	228	92	300	392	228	392	620
四肢血圧測定			115			201			316
骨塩定量	14	66	80	21	72	93	35	138	173

呼吸機能実技講習会 参加者募集のお知らせ

日　時：平成15年１月25日（土）14：30～17：30
場　所：チェスト株式会社大阪支店
講　師：部会世話人ほか
初　級：スパイロ・精密（ＦＲＣ、ΔＮ２、ＤＬＣo）
参加費：3,000円
定　員：約20名

＜申し込み方法＞

往復ハガキに研修会名、氏名、会員番号、施設名、年齢、経験年数、連絡先（〒、住所、電話番号、内線、メールアドレス等）、希望コース（スパイロか精密か）と、返信用の表に返信先、住所、氏名、〒を明記の上、お申し込みください。

〒545-8586（住所不要）
大阪市大病院中検　藤岡　一也 宛

締め切り：１月７日必着です

注意：先着順に受付をしますが、応募者多数で同一施設から複数参加希望される場合には調整の上１名のみにさせていただく場合がありますので、あらかじめ相談の上優先順位を付記して下さい。（記入不備の場合はお断りすることが有りますのでご注意下さい）

シックハウス問題を考えよう

公衆衛生検査部会

近年、住宅に使用される建材等から室内に発散するホルムアルデヒドやＶＯＣなどの化学物質により、人の健康に影響があったとする事例が報告され、いわゆる「シックハウス」問題として指摘されていることは、ご存知のことと思います。

現在、国の「シックハウス（室内空気汚染）問題に関する検討会」をはじめとする行政の対応や、産業界も対策を進められているようですが、今回は、実際にシックハウスの原因となる室内空気汚染物質を測定されている先生を講師にお迎えして、シックハウス問題に関する現状や問題点、今後の方向などを測定方法も交えお話いただく予定です。

日　時：平成14年11月20日（水）18：30～20：00
場　所：大阪府立健康科学センター　２階　会議室
（入口から左手（東側）に進み、エレベーターで２Ｆ）
ＪＲ環状線＆地下鉄 森ノ宮下車 東へ１分
（府立成人病センター北西に隣接）
テーマ：シックハウス問題を考えよう
講　師：大阪市立環境科学研究所　大気環境課
研究副主幹　宮崎　竹二
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
評価点：Ａ－10点
連絡先：大阪府四条畷府民健康プラザ（四条畷保健所）
生活衛生室検査課　高橋　克己（TEL：072-878-4480）

第11回 中央支部 生涯教育講演会 報告

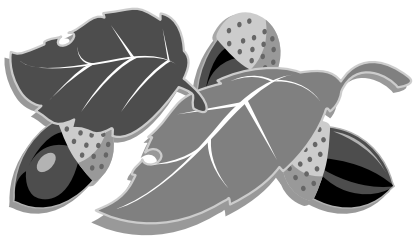
平成14年９月28日（土）関西医科大学附属病院（南館７階）にて、第11回中央支部生涯教育講演会が開催されました。

今回は、高砂直樹先生（新香里病院　医事課課長代理兼地域医療連携室係長）を講師に迎え、「事務所からみた臨床検査技師 ～少し辛口な話を含め同窓会をしましょう～」というテーマのもと、検査室から事務所（地域医療連携室）へと職場を変わられた経験を持つ高砂先生ならではの視点からみた検査室ならびに臨床検査技師の現状と今後の展望についてお話を伺いました。

４月の診療報酬改定でもわかるように医療を取り巻く情勢は年々厳しくなり、病院の機能分担化が進められている状況下で、ブランチ・ＦＭＳへの移行問題やチーム医療への関わり方等、病院内における検査室の存在意義や今後のあり方、臨床検査技師の進むべき方向性などについての問題提起がなされました。

また、会場の参加者からは、輸血認定技師や臨床工学士など各種認定検査技師に対する病院内での評価について活発な意見交換が行われるなど、今の検査室や臨床検査技師の置かれている立場の厳しさや危機感をひしひしと感じながら講演会は終了しました。

大阪府臨床検査技師会　中央支部
東住吉森本病院　浅沼　晴雄



気になるギモンにお答えします！ Q&A

Q 心膜液・心嚢水・心嚢液

心膜液・心嚢水・心嚢液という表現があるのですが、いずれもpericardial fluidの訳語で心嚢内に貯留する液を示していると考えられるのですが、何か使い分けとかあるのでしょうか（たとえば解剖学的な内容で使用するとか、成分的な違いとか、量の違いでちがうとか）。それとも定義の違いがあるのでしょうか？また、全く同じ物をさす場合、この３つの表現のうちどれが主流なのでしょうか？教えてください。

（匿名希望）

A お答えします。

結論から申しますと、心嚢液とか心嚢水とかは実際に使いますが、心膜液とは使いません。そして英語にはない日本独特の「使い分け」はしていません。

２つのうちどれが主流か？といわれても困りますが、心嚢液なら誤解無く伝わります。私は無難に日常的には、英語表記にしていますけど(;^_^)A

心嚢とは、心臓を包むように袋状の心外膜があります。普通はこの心臓を心外膜が包んだ状態の物体を漠然と心嚢（文字通り心臓の袋）と呼んでいるのが現実のようです。

発生学的には、心嚢の腔は、原始中杯葉細胞の間に生じる体腔の１つです。そしてその空間に貯まる液体は、おなか（腹腔）の腹水、胸腔の胸水と同じです。

心外膜の内側と心臓の表面は正常では触るとつるつると滑らかであり、ここには細胞診でいうところの中皮細胞が腔の内側：つまり心外膜の内側と心臓の表面を形成しています。一方、心外膜の外側は胸部の結合組織に移行し、肺を入れている胸腔の胸膜の外側の結合組織と混在し、胸骨に癒着しています。子供ですと胸骨の下には胸腺が認められます。

病理解剖をしますと、ほとんどのヒトに普通10㎖くらいの淡黄色透明な液体を心嚢腔に認めますが、この内腔液が混濁していたりザラザラしたり（胸部の感染症とかＳＬＥなどの自己免疫疾患や、癌があるときなど）時には内腔が閉じてしまって線維化している場合などがありますし、心筋梗塞などの時のように、心臓の筋肉からなる壁や冠状動脈が破けてしまう時などは、動脈血が充満していて心タンポナーデの状態にあるなど、心嚢腔や心嚢液は心臓のみならず胸部臓器の状態を反映しますので、臨床的には非常に重要な情報源となります。

この内腔を pericardial space（peri=外）と呼んでいます。

心膜という用語は心臓の表面を指すのか、心臓を包む心外膜を指すのかが不正確なので普通は使いません。ちなみに心内膜とは、心臓の壁の内側の血液を満たしている空間に接する細胞群（膜）のことを指します。

加えて、心外膜の膜の中に貯留する液体でもないので、心膜液という呼称は避けるべきだと思います。一般的なことを申しましたが、疑問点は解消されましたでしょうか。

小島英明　kojima@tmin.ac.jp
㈶東京都医学研究機構
認定病理専門医　認定臨床検査医
細胞診指導医　F.ACB　M.IAC.

リレーエッセイ バトンタッチ

休日に最近行っていなかった某本屋（大型店）に行った。久しぶりだったので、レイアウトがかわっていたのでとりあえず、本屋の中をぐるりとひとまわり。

特に買う本を決めていたわけではないので、雑誌や専門書など本屋の中をウロウロしながら、最初の数ページを読み、興味のありそうな本を探しだし、やっと買おうとしたら隣によく似た題名の本があり、比べてはどれにしようか迷っていると、いつのまにか時間のたつのも忘れて閉店間際になってしまい、とりあえず迷ったあげく買ってしまった。

帰りの電車の中で続きを読むのだが買ったという満足感で結局、最初の数ページを読んだだけの本が数冊、本棚に眠っている。(-_-) zz

皆さんは読みかけの本はありませんか？

（大阪市総合医療センター　中村　春己）

知って得する ウェブサイト Website

わたしたちの著作権講座
http://ecows.econ.niigata-u.ac.jp/~neo-luna/copyright/index.htm

わたしたにち身近に存在している著作権について、その仕組みと意義をわかりやすく説明してくれるサイトです。ホームページを作る人は必見です。

All About Japan（ノートパソコン）
http://allabout.co.jp/computer/notepc/

ノートパソコンについて、最新情報の入手から購入相談まで、さまざまな情報を提供してくれるサイト。購入予定のある方は、一度目を通しておいた方がいいかも。

コンピュータセキュリティ入門の入門
http://www.ut-info.com/security/

あなたのパスワードは安全ですか？このサイトでは、セキュリティ初心者のために、ちょっと変わった視点からコンピュータセキュリティについて説明してくれます。あっとおどろく仕掛けもありますよ。

事務局から

1 会員の「継続」、「入会」、「異動」などの届出は、日臨技ホームページのJAMTIS、または所定用紙の郵送でお願いします。**TEL、FAXでの届出はご遠慮ください。**
なお、JAMTISによる届出方法に関する詳細、所定の郵送用届出用紙の綴じ込みは、**会誌「医学検査2002年1月号Vol.51、NO.1」「大臨技会報185号」**に掲載されています。

2 「会員証」「パスワード」の再発行も同様です。特に会員証再発行は有料（300円）ですのでご了承下さい。

Cool Down

～東京という空間～

だいぶ日が暮れるのも早くなってきた。こうなってくると年末まで一気に駆け抜けていく。そんな中、隙間を狙って私はまた東京へ行くことになりそうだ。前号でSuicaに触れたが、Suicaとは、Super Urban Intelligent Cardの略で、一つ取り上げると定期券とイオカードが一緒になったものだ。ワンタッチで改札を通過でき、乗り越しても改札機で精算してくれる。2003年６月には、クレジット機能とSuicaイオカードが一体化した「ビュー・スイカ」カードの発行が開始されるとのこと。正直早く関西圏でも登場してほしいと願う。

「東京は人が多いし交通はわからないし家賃は高いし人は冷たいから嫌だ」というのをよく聞く。確かに人の多さや交通のややこしさは大阪の比ではない。だが私はそのごみごみした中にいると生きているという感じがする。夜に新宿を歩いてふと見上げると、ビルの群が高く美しくそびえ立っており、それはとても癒される。目的地へ行くのにどのルートなら最短で行けるかを考える時、東京の街は大変考え甲斐があり、クリアした瞬間は快感すら覚える。私にとって東京という空間は一つのテーマパークのようなもので、"東京へ行く"というのは"ディズニーランドに行く"というのに似てるのかもしれない。

大阪へ帰る時、伊丹に着いて梅田に向かう車中から新梅田シティや観覧車が見えてきたら、大阪に帰ってきたんだと妙にほっとする。これは"やっぱり大阪がいい"というよりも"また次東京へ行く日を目標に毎日頑張っていける"という気持ちの表れなのかもしれない。（今田晶子）

読者の広場

ⓘＹＭＴ発足しました

ＹＭＴとは、“ Young Medical Technologist ” の略で、「若者の、若者による、若者のための」をモットーにしています。やる気のある若手の技師が集まって、日頃から疑問に思っている事や、若手ならではのアイデアを、さまざまな施設の技師と交流を深めながら、気軽に意見交換できるようにしようとする会です。また、そこで出た意見を勉強会などを通じて伝えることができればと考えています。現在、大臨技南支部の若手が中心となって活動しています。

新人技師をはじめ、多くの技師と交流を持ちたいと考えている方、ぜひ気軽に参加してみてください。また、この会を我々と一緒に作っていきたいと考えている方は、下記までご連絡ください。発足者一同、心よりお待ちしております。

ＹＭＴ代表：石川隆司（医療法人　幸会 喜多病院）

連絡先：前田岳宏（近畿大学医学部附属病院）
TEL：072-366-0221(内 2187)、FAX：072-366-0206
E-mail：ta_maeda0111@ybb.ne.jp

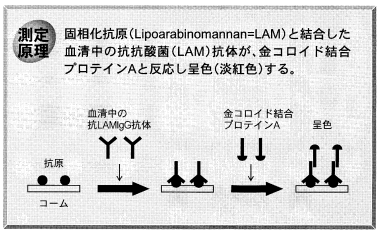
活動性抗酸菌症の診断に有効

抗抗酸菌（Lipoarabinomannan）抗体検出試薬キット

「マイコドット」
MycoDot

特徴
1. 血清中の結核菌及び非定形抗酸菌による抗体を検出します。
2. 金コロイド免疫測定法を用い簡便、迅速な検査が可能です。（所要時間20分）
3. 特別な装置・器具を必要としません。
4. 排菌陰性症例でも高い陽性率を示します。（陽性率69％）

測定原理
固相化抗原（Lipoarabinomannan=LAM）と結合した血清中の抗抗酸菌（LAM）抗体が、金コロイド結合プロテインAと反応し呈色（淡紅色）する。



〔資料請求先〕
Wako 和光純薬工業株式会社 臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13　電話：03-3270-9134（ダイヤルイン）

皆さんのご意見、情報等お待ちしております。
FAX：06-6644-1128　E-mail：imai@osaka-amt.or.jp
郵送の場合は大臨技事務所までご送付下さい。